

新篠津小・西岡北小 田植え交流

5月21日、みのり交流農園において、新小5年生24人と札幌市西岡北小5年生62人が田植え体験を通じた農業体験交流事業が行われました。

この事業は農業の楽しさを知ってもらうことを目的に平成18年より行われ、今年で10回目となります。

児童らは、田植え方法などの説明を受けた後、3人1組になって協力しながら、田んぼに入って苗を植えていました。

また、10回目の開催を記念して、児童らは村の木「ななかまど」を3本、札幌市の木「ライラック」を2本を校庭に植樹しました。



新高3年生 種から育てた苗を花壇に植栽

5月26日～28日の3日間、新篠津村高等養護学校生活園芸科3年生8名が道道岩見沢石狩線(第44線から第45線間)の植樹マスと役場庁舎正面花壇に花植を行いました。

この植栽は、生徒たちの地域交流と自分たちの成果を試すことを目的に毎年実施しています。

マリーゴールドやベコニアを道道岩見沢石狩線には約860株を、庁舎正面花壇には300株を植え込みました。新高生徒の野口さんは「一生懸命頑張りました。きれいに植えることができ、うれしいです。」と笑顔で話していました。

活気溢れる幸生園まつり

5月30日、お祭りムード色の会場を舞台に幸生園まつりが開催されました。

利用者と職員によるよさこいソーラン、バンド演奏などのアトラクションや焼き鳥やそば・うどんなどの出店もあり、利用者や来場客の笑い声と拍手が溢れていました。

また、この日は、「しんしのつのおこめちゃん」も駆け付けてお祭りを更に賑やかに盛り上げてくれました。

子どもはもちろん、たくさんの人たちと写真撮影を行い、皆さんに喜んでもらったおこめちゃんは満足して会場を後にしていました。



新小4年生自然体験学習「しのつ湖探検隊」

6月1日、新小4年生20人がしのつ湖周辺の樹木や自然について学びました。

しのつ湖未来会の田口さんより、しのつ湖周辺に生息するヤチダモやオニグルミなど数種類の樹木に関する説明がありました。

児童らは実際に樹木の葉を手に取り、それぞれの葉の形や手触りの違いを学びました。

また、ハルニレの種の播種作業や苗木をビニールポットに植え替える作業を行いました。この苗木は秋にしのつ湖周辺に植樹される予定です。